

質 疑 回 答 書

平成30年5月7日

工事名 佐賀大学(本庄町1)イノベーション・ラボ外壁改修工事

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
1	現場説明書	仮設工事について 現場説明書では、監督職員事務所は設けないと記載されていますが、作業員用休憩所及びトイレ等の設置は如何いたしましょうか？	作業員用休憩所及びトイレは工事用地内に設置しても構いません。
2	A-1	既存塗膜除去について 特記事項にて、外壁既存塗膜は高圧水洗工法により全面撤去と記載されていますが、吐出圧力30Mpa以上での既存塗膜全剥離と考えてよろしいでしょうか？	既存塗膜除去については、高圧水洗工法(30Mpa以上)で行い脆弱部の除去とします。
3	A-2	参考数量について 参考数量表では、工法別の数量が記載されていますが、既存塗膜を全剥離し、打診調査後、数量に相違があった場合、設計変更の対象となるのでしょうか？	外壁数量施工調査後に参考数量との相違があった場合は、増減又は設計変更を行います。
4	A-1,A-2	外壁改修工事の範囲についてですが、図面A-1(平面図)では、1F~屋上の東面一部から南面までとなっていますが、図面A-2(立面図)では、東面の3階部分より上が工事範囲対象外となっております。どちらに合わせればよいでしょうか？	立面図を正とします。
5	A-1,A-2	外壁改修項目にて、既存塗膜を高圧水洗工法にて全撤去とありますが、弊社では施工できません。業者様をご推薦およびご紹介頂けないでしょうか？また高圧水洗工法以外の工法で塗膜全撤去を行う事は可能ですか？(例:環境配慮タイプの塗膜剥離剤にて手工具ケレン工法にて全撤去など)	既存塗膜除去については、高圧水洗工法(30Mpa以上)で行い脆弱部の除去とします。高圧水洗工法は一般的な工法であるため業者の紹介は行いません。
6		工事対象建物を一度現地で確認したいのですが、現地調査は可能でしょうか？(室内には入りません)	現地調査を行っても構いません。現地調査の日時決定後下記連絡先に問い合わせください。 連絡先:企画管理課 総務主担当 米田係長 0952-28-8968
7		外壁既存塗膜撤去とありますが、塗膜内にアスベストは含まれていませんでしょうか？	アスベストは含まれていません。
8	A-1	・防水FTの特記事項に、高圧水洗により塗膜の全面撤去とありますが、完全除去なのか脆弱部のみの除去なのかどちらでしょうか？また、塗膜の除去が難しい場合は、付着強度確認の上塗装をして良いのか、サンディング工法や剥離剤を使った塗膜の除去は検討してもらえますか？	回答番号2参照。